

令和3年度 ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

～ふくしまの ^{おも}想いを繋ぐ ^{つな}十七字～ 会津域内入賞作品

県入賞作品

絆部門 佳作

ふるさと部門 佳作

会津教育事務所入賞作品

絆部門 奨励賞

ふるさと部門 奨励賞

ばあちゃんに 顔見せなきゃと マスク取る

会津若松市立城北小学校 五年 佐々木 大和
いつもマスクをしているけど、お墓参りではあちゃんに顔を見せたいと思い、マスクを取りました。

墓前には 笑顔を見せてと 許可を出す

母 佐々木 佑季子
マスクを取りたいという息子に、墓前ならいいと先祖を思う気持ちに許可を出しました。

スタート台 セミも応援 初レース

会津若松市立城西小学校 四年 菅野 明希
私が初めて出た水泳の大会では、人があまりいなく応援がありませんでした。その時にセミが応援してくれたことがうれしくて作りました。

緊張を もらってあげたい 初レース

父 菅野 総一
初レースの緊張とスタート台からの飛び込みの緊張が重なり、ゴーグルするのを忘れてしまっている娘の様子から作りました。

いつの日か 受け継ぐノート 母の愛

会津若松市立第四中学校 一年 磯谷 柊介
いつか大人になっても母の味を忘れず、受け継いでいきたいからです。

いつかねえ レシピをノートに 書き留める

母 磯谷 紀子
私が母から料理を教わったように私も我が子に自分の料理の味を伝えたいと思い、レシピノートを作っています。子どもが自立する時にプレゼントしたいです。

湖水浴 息つぎの先に ばんだい山

会津若松市立第四中学校 一年 諏佐 陸
猪苗代湖に泳ぎに行った時、山と湖が重なってふるさとを感じたことがきっかけです。

いつまでも 子に伝え残したい 会津の夏

母 諏佐 知夏
猪苗代湖に泳ぎに行った時、山と湖が重なったこの景色をいつまでも子に伝えていきたいと思ったことがきっかけです。

只見線 いつかつながる この故郷へ

金山町立金山中学校 一年 須佐 桂伍
只見線が開通するのを楽しみにしているからです。

幸願う レールの先も 子の先も

母 須佐 美紀
明るい未来がずっと続きますようにと願いを込めて作りました。

令和3年度の会津域内の応募作品数は6,143組でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

この令和3年度『ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業』の入賞作品や表彰式の様子は県教育委員会や会津教育事務所のHPでも御覧いただけます。



編集：会津教育事務所

いもうとがねたあとママをひとりじめ
ザベリオ学園こども園 年中 新 菜帆
お姉ちゃんたくさん話そう 今日のこと
母 新 沙央理

ぼくやるよ せんたくたたみとオムツあらい
磐梯二小 一年 五十嵐 舜汰
「ありがとう」「あご」「ごさり」やりなおし
母 五十嵐 真貴子

ママの手はいたみをなくす まほうの手
塩川小 四年 小山 光理
大丈夫 思いをこめて手を当てる
母 小山 英理子

柱のきず 今年だけだけのびたかな
西会津小 五年 伊藤 詩真
来ぬ孫の柱のきずをなでさする
祖父 永 永測 丹

練習中 知らぬ間に二重奏
若松四中 二年 内川 蒼唯
隣から流れるメロディ 重ねたい
若松四中 二年 飯塚 彩水

負けまいと 母の本気に力抜く
若松五中 一年 白井 陽稀
腕相撲 昔はわざと負けたのに
母 白井 奈津美

泣くまいと 背を向け机で 本開く
北会津中 三年 佐藤 由杏
言いすぎた 素直に言えずに 閉めるドア
父 佐藤 祐一

押し入れに 幼き思い出 あふれる
会津柳津学園中 二年 白井 広弥
断捨離で 思い出話に 花が咲く
母 白井 千代

たのしいね ばあちゃんちまで 只見線
坂下南幼稚園 年中 五ノ井 櫻子
只見線 想いを繋ぐ 再開通
母 五ノ井 香織

ただみせん きてきでおもいつたわるよ
城北小 一年 長谷川 萌愛
只見線 全線復旧 待ちわびる
母 長谷川 志穂

なみえ町 トルコギキョウ 五りんへと
小金井小 二年 田内 そうま
福島県の想いを届け 世界へ
母 田内 裕子

団体賞

- 会津若松市立城北小学校
- 会津若松市立行仁小学校
- 会津若松市立謹教小学校
- 磐梯町立磐梯第二小学校
- 北塩原村立裏磐梯小学校
- 昭和村立昭和小学校
- 会津若松市立第一中学校
- 喜多方市立塩川中学校
- 三島町立三島中学校
- ザベリオ学園こども園

団体奨励賞

- 喜多方市立上三宮小学校
- 喜多方市立駒形小学校
- 金山町立横田小学校
- 西会津町立西会津中学校